

事務事業評価調書

事務事業名	公平委員会運営事業				
担当部名	公平委員会事務局	室課名	公平委員会事務局	室課長名	小林祐司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方自治法、地方公務員法、吹田市公平委員会設置条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総計計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	企業職員及び地方公務員法第57条に規定する職員を除く一般職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	中立的機関として職員の利益の保護及び公正な人事権の行使の保障												
			公正な人事行政の維持・確保											
(7) 事業概要	<p>①職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査・判定し、必要な措置を執ること。</p> <p>②職員に対する不利益な処分についての審査請求に対する裁決をすること。</p> <p>③勤務条件その他人事管理に関する職員からの苦情相談の処理。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	07	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,925	1,560	1,925	1,616	1,921							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00							
		総額(B)	千円	0	0	0	0							
	総事業費(A+B)		1,925	1,560	1,925	1,616	1,921							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		1,925	1,560	1,925	1,616							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		1,925	1,560	1,925	1,616							
財源計(C+D)		1,925	1,560	1,925	1,616	1,921								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 公平委員会の開催日数	目標値	(単位:回)	12.00	12.00	12.00
			実績値	(単位:回)	12.00	12.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 月1回の委員会の開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	130.00	134.67		
			一般財源(単位:千円)	130.00	134.67		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 委員会で審議する案件の完了割合	目標値	(単位:%)	100.00	100.00
	実績値			(単位:%)	100.00	100.00	
	達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法 委員会で審議する案件を完了する	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	15.60	16.16		
			一般財源(単位:千円)	15.60	16.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公平委員会は、職員の任免、懲戒等の人事権の行使を適正に行うために設けられた各任命権者から独立した専門的機関であり、地方自治法(第180条の5第1項第3号)、地方公務員法(第7条第2項)によって設置が義務付けられている。				

事務事業分析シート

所属名	公平委員会事務局	事業名	公平委員会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00827				

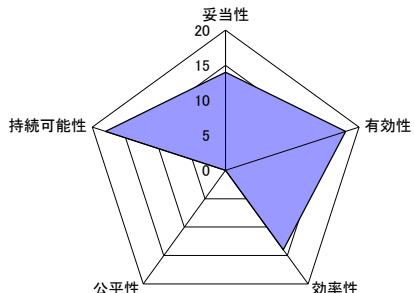
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	公平委員会事務局	事務事業番号	00827
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当年度(平成28年度)は、2件の審査請求の審査を行った。そのうち1件は平成26年度からの継続事案で当年度に審査を終結し、もう1件は現在も審査を継続している。また、当年度は6件の苦情相談の処理を行った。 今後も職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するための公正・中立な第三者機関として、その役割がますます重要になると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)